

第6分科会 「健やかな体」 運営概要

【研究課題】 健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方

【リーダーシップの視点】

- 1 生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する教育活動の推進
- 2 生涯を通じて自他の健康課題に適切に対応する教育活動の推進

I 分科会研究協議の運営計画

社会環境・生活環境の変化は、人々の生活様式に大きな影響をもたらしたばかりでなく、子どもたちの心身への影響も大きく、体力・運動能力の低下をはじめ、ストレスや肥満傾向の増加、生活習慣病への危険性の高まりなど、様々な健康問題を引き起こしている。また、運動への関心や運動する意欲の低下、さらに、運動する子どもとそうでない子どもとの二極化が進んでおり、子どもの体力の低下傾向や生活習慣病等が問題となっている。

こうした状況の中で、子ども一人一人に運動や健康・安全の大切さについての意識を高め、自らの健康を適切に管理し改善する能力を培うことは重要な課題である。

また、子どもが学んだことを、実社会・実生活に生かすことができるように家庭・地域との連携を強化し、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育み、運動のできる環境も含め、健康で安全な生活を送ることができるような教育課程の編成・実施等が求められる。

これらのことを踏まえると、学校での教育活動とともに、家庭や地域の役割を明確にし、学校・家庭・地域の密接な連携・協働が必要と考える。

本分科会では、これからの時代を生きる子どもたちが、心身ともに健やかな成長を目指す健康教育を推進するためのカリキュラム・マネジメントについての具体的方策と成果を明らかにする。

視点1 生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する教育活動の推進

- ・教育活動全体の計画における体育的な活動の位置付け
- ・全教職員の共通理解のもと学校教育全体の計画における体力向上の取組の在り方
- ・家庭や地域との連携の在り方

視点2 生涯を通じて自他の健康課題に適切に対応する教育活動の推進

- ・自らの基本的な生活習慣を見直し、様々な欲求やストレスに対し適切に対処できる力を育む教育活動

昨年までの成果・課題

【成果】

- ・教育活動を円滑に実施・改善を進める上で、校長自ら指導者や関係者へ働きかけることが効果的である。
- ・関係団体との連携など開かれた取組は、生涯にわたるスポーツに発展することが期待できる。
- ・児童のニーズや変容の的確な把握が、体力向上や健康な生活習慣の獲得につながっていく。

【課題】

- ・保護者や指導者の時間的・経済的な負担を考慮した児童スポーツ活動の在り方を考えていく必要がある。
- ・関係団体や地域との連携をさらに進め、スポーツの楽しさや喜びを味わうことのできる環境整備が必要である。
- ・教科体育などで生涯スポーツへとつなげる道筋を明らかにしていく必要がある。

Ⅲ 研究発表の概要

◇研究発表者 檜山地区 乙部町立明和小学校長 買手 郁 史

○発表題 健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方

○発表の趣旨と概要

社会環境や生活環境の変化は、子どもたちの心身への影響も大きく、体力・運動能力の低下をはじめ、ストレスや肥満傾向の増加、生活習慣病への危険性の高まりなど、様々な健康問題を引き起こしている。また、運動に対する関心や意欲、及び体力の低下等が問題となっている。

こうした状況の中で、子ども一人一人が運動や健康・安全の大切さについての意識を高め、自らの健康を適切に管理し改善する能力を培うことが重要な課題である。

これらのことを踏まえ、檜山校長会では、平成29年度から平成31年度まで「健やかな体」に関する実践研究を進めるに当たり、学校での教育活動とともに、家庭や地域の役割を明確にし、連携して取り組むことが大切と考え、健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方について、具体的な方策と課題・成果を明らかにし、校長が果たすべき役割と指導性を究明する。

○檜山管内の実態

北海道南部に位置し、離島奥尻町を含む7町で構成されている。小学校数は20校であるが、そのうち8校が完全複式校となっている。また、統廃合により校区が広範囲なため、スクールバス利用者が多く、登下校の時刻や放課後活動への制約が生じている。

管内の教育の状況としては、学力的には全道と比較して中位、体力的には道や全国と比較して上位にある。各町及び各校での取組が組織的に行われていると言える一方で、家庭への継続的な支援や働きかけを要する実態もある。

Ⅳ 協議の流れ

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1 開会・日程確認（10分） | 6 休憩（15分） |
| 2 趣旨説明（10分） | 7 グループ協議 視点1・2（65分） |
| 3 研究発表（20分） | 8 全体協議（40分） |
| 4 グループ討議（20分） | 9 まとめと今後の課題（10分） |
| 5 全体協議（20分） | 10 連絡・閉会（3分） |

Ⅴ 討議の柱

【視点1】 子どもが自ら望ましい運動習慣を身に付けて体力向上につなげるために、校長はどのようにカリキュラム・マネジメントを発揮し、日常の取組や授業の充実を図るか

【視点2】 子どもが健康で望ましい生活習慣を身に付けるために、校長はどのように家庭や地域と連携をとって教育課程の改善を図るか

キーワード：授業改善，連携，環境づくり

Ⅵ お願い

◇グループ内で名刺交換を行いますので10枚程度お持ちください。

◇グループ内での司会・記録を事前にお問い合わせいただいております。依頼があった際にはお引き受けくださいますようお願いいたします。

◇各地区・各校の現状や取組についてグループで交流します。用意できる方は、地区・各校の取組や課題を端的にまとめた資料（A4版1枚程度）を10部お持ちください。

（文責 四戸 基樹）